



環境調和型産業論分野

Environmentally-Friendly Industries for Sustainable Development

地球親和型の技術開発およびその展開

<http://enfitwww.env.kyoto-u.ac.jp/>

研究室の特徴



➔ 現場主義の調査・実験とモデル化解析による
実用的・実践的な研究

➔ 各種プロジェクトへの積極的な参加

科研費(アジア水衛生環境改善)、科研費(マイクロプラスチック)、
環境省(外来生物対策)、科研費(アジア化学物質発生源推定)、
科研費(スラムの下痢症リスク)、科研費(途上国薬剤耐性糞便微生物)
地球研(サニテーション・バリューチェーン)



➔ 教育・研究の国際化

留学生(ベトナム2、タイ2、中国2、マレーシア1、ミャンマー1、インドネシア1、カンボジア1)

学生の海外インターン(ベトナム、タイ、ネパール、マラウイ、ウガンダ、ザンビア他)

各種海外プロジェクト(イノベータ、JGP、マヒドンオンサイトラボ)

海外拠点・協力大学(ベトナム・ハノイ理工科大学/ダナン理工科大/フエ科学大、タイ・マヒドン大、
バングラディッシュ・クルナ大、ウガンダ・マケレレ大、ザンビア・ザンビア大ほか)

Research Topics

⇒ 微量汚染物質（有機フッ素化合物、マイクロプラスチック等）

前駆体を含めた包括的管理方法の開発（LC-MS/MS、GC-MS/MS、AOX、TOF-MS）
処理法（物理（膜分離・吸着）、酸化（AOP、UV他））の検討
アジアメガシティの水環境中の動態解析と発生源推定

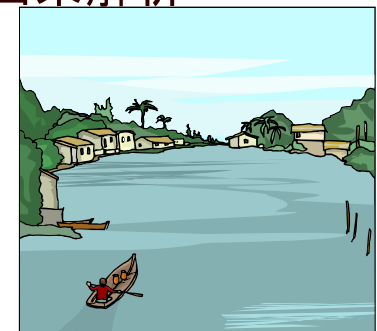


⇒ 流域管理

国内および海外における抽水植物群落およびマングローブ林の保全再生、
GPS植生調査、空撮、環境DNA分析の展開によるアジア重要湿地の植物多様性評価、
衛星データを活用した流域管理分布型水質水量モデルの開発、琵琶湖水質管理
データベースシステムの開発、遺伝子マーカーを使った河川汚濁由来解析

⇒ 途上国衛生環境改善

途上国の下水管理の実態把握とその改善シナリオ作成
スラム下痢症リスク解析、薬剤耐性糞便微生物の実態解析、
適正技術型トイレ開発・評価、N・P循環および汚濁負荷解析





Member & After Graduation

⇒ 教員 3名

教授	藤井 滋穂
准教授	田中 周平
助教	原田 英典

⇒ 教務補佐員・技術補佐員 2名

⇒ 学生 18+?名 (2019年4月現在)

博士課程	D3: 2名	(学舎, 工・都市環境工学専攻)
	D2: 2名	(学舎, 工・都市環境工学専攻)
	D1: 1名	(学舎)
修士課程	M2: 3名	M1: 7名 (学舎)
	M2: 3名	M1: 2名 (工・都市環境工学専攻)
学部	B4: ?名	(工・地球工学科環境工学コース)
研究生:	2名	(学舎), 特別聴講生: 1名 (学舎)

—卒修生の最近の進路—

2018年度

三菱UFJ R&C, 八千代エンジニアリング, いであ, 日本工営, パシフィックコンサルタンツ, 大栄環境, NTTデータグローバルソリューションズ, 日立造船

2017年度

学舎博士課程, ヴェオリア・ジェネッツ, 日立造船, 日立製作所, みずほ情報総研

2016年度

学舎博士課程, 日立造船, 三菱日立パワーシステムズ, マルハン, JICA

⇒ 2015年度

環境省, みずほ情報総研, 三菱UFJ R&C, クボタ, TSP, 建設技研インター, 月島機械

Contact: fujii@eden.env.kyoto-u.ac.jp